

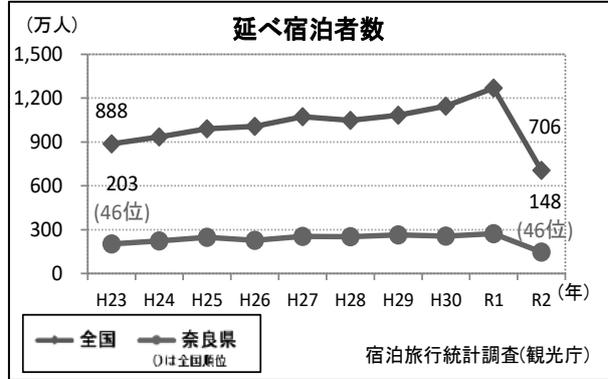
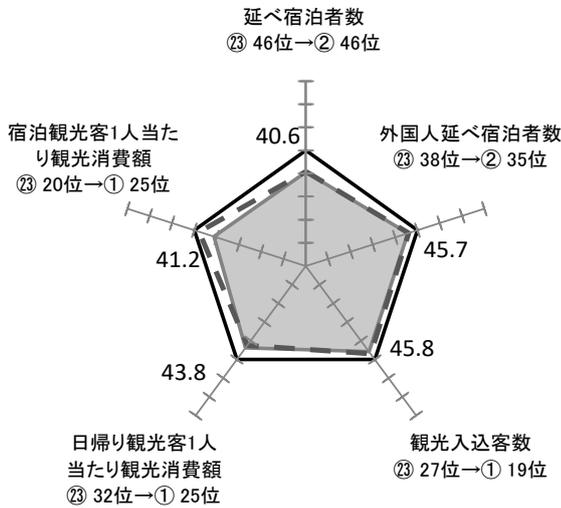
Ⅱ 賑わう「都」をつくる

- 3. 滞在型観光の定着
- 4. 魅力ある観光地づくり
- 5. 観光奈良の魅力向上・発信

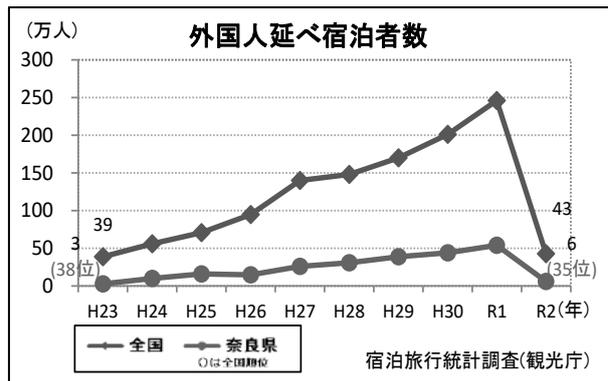
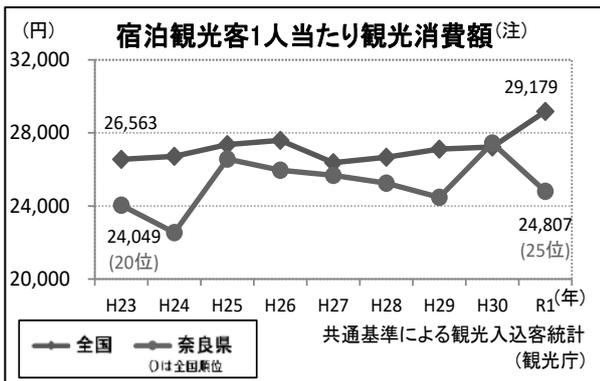
【担当部局等】

文化・教育・くらし創造部、産業・観光・雇用振興部、観光局、食と農の振興部、県土マネジメント部、地域デザイン推進局

1. 現状分析

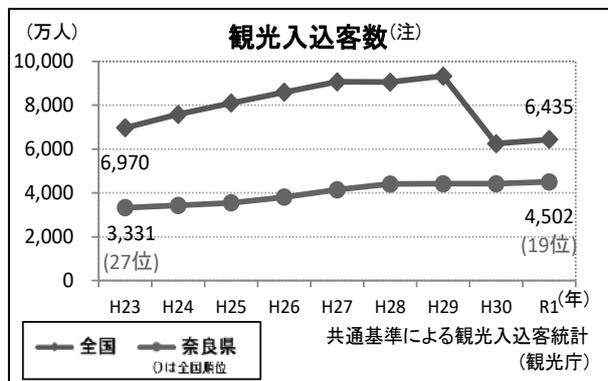
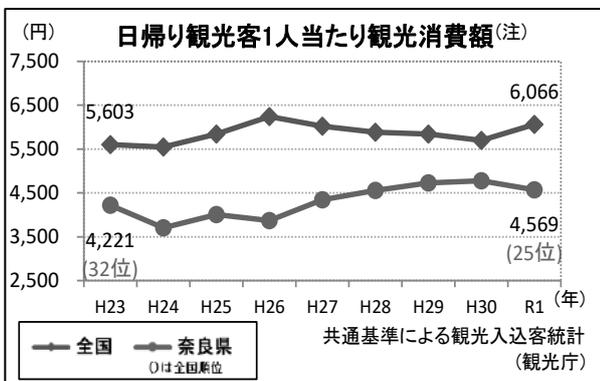


新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年の奈良県の延べ宿泊者数は148万人で、前年比125万人(45.8%)の減少となり、全国も同様に半数近く減少しました。



令和元年の宿泊観光客1人当たり観光消費額は24,807円で、前年比2,644円(9.6%)の減少となり、全国平均を下回りました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年の外国人延べ宿泊者数は6万人で、前年比48万人(88.9%)の減少となり、全国も同様に大幅に減少しました。



令和元年の日帰り観光客1人当たり観光消費額は4,569円で、前年比212円(4.4%)の減少となり、全国平均と比べ低い状態が続いています。

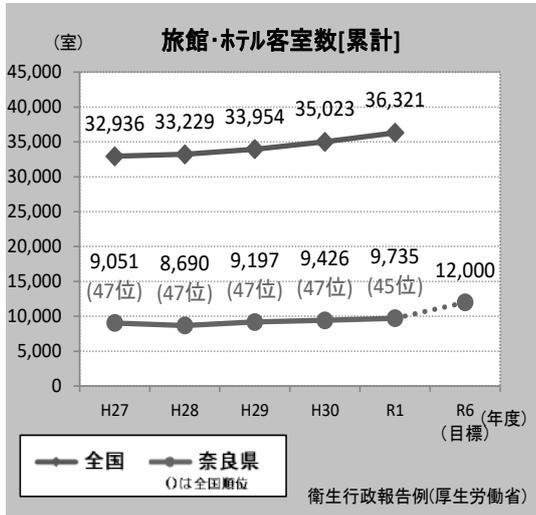
令和元年の観光入込客数は4,502万人で、前年比81万人(1.8%)の増加となりましたが、全国平均と比べ低い状態が続いています。

(注) 都道府県により公表時期が異なるため、年により公表されている都道府県数が異なります。H23:43都道府県 H24:43都道府県 H25:44都道府県 H26:44都道府県 H27:43都道府県 H28:44都道府県 H29:40都道府県 H30:36県 R1:32県 (令和3年7月末時点)

2. 各テーマの「目指す姿」達成に向けた進捗状況

坊	3.滞在型観光の定着
テーマ	(13) ホテル誘致 (18) 民泊、修学旅行、スポーツ・セミナー合宿への支援 (19) 宿泊予約統一サイトの整備
目指す姿	令和6年度までに旅館・ホテル客室数を12,000室にします。

CC(チーフコーディネーター)
(13) 産業・観光・雇用振興部 企業立地推進課長 奈良 英彦 (18)、(19) 観光局 ならの観光力向上課長 松浦 功治



旅館・ホテル客室数[累計](室)				
基準値		実績値	目標値	進捗率 (傾向)
9,051	↗	9,735	12,000	23.2%
H27年度 (2015)	684 (室)	R1年度 (2019)	R6年 (2024)	$\frac{4}{9}$ 年目
直近の指標の動き				
9,197	↗	9,426	↗	9,735
H29年度	229 (室)	H30年度	309 (室)	R1年度

進捗状況	指標の動き (基準値からの動向、直近の動き、進捗率等)	進捗状況とその要因 (進捗状況の背景・要因分析等)
	令和元年度の県内旅館・ホテル客室数は平成27年度から684室増加し、9,735室となりました。全国順位は45位で進捗率は23.2%となっています。	既存施設の廃止等に伴う客室数の減少要因があるものの、JWマリオットの誘致を契機に、海外のホテル事業者等から立地先として注目されているなか、継続した国内外のホテル誘致の取組もあって、ホテルの新規開業が進み、全体として、客室数は増加傾向にあります。

「目指す姿」達成に向けた「主な取組」に関する指標の動き

※令和2年の数値がないため、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は反映できておりません。

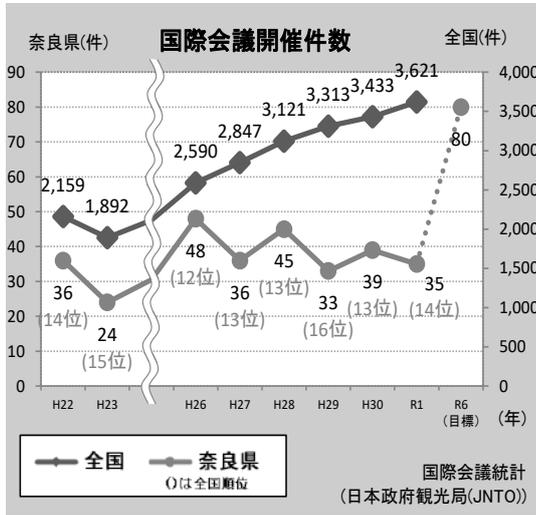
主な取組	関係する指標	指標の動き						
上質な宿泊施設や多様なニーズに応える宿泊施設の整備	融資制度(宿泊関連)利用件数(件)	12	↘	6	↗	8	↘	2
		H29年度 (2017)	▲6 件	H30年度 (2018)	2 件	R1年度 (2019)	▲6 件	R2年度 (2020)
上質な宿泊施設や多様なニーズに応える宿泊施設の整備	民泊、簡易宿所の営業施設数[累計](施設)	-	—	458	↗	520	↗	524
		-	-	H30年度 (2018)	62 施設	R1年度 (2019)	4 施設	R2年度 (2020)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

これまでのホテル誘致の取組が実を結び、令和2年6月に高畑町裁判所跡地に「ふふ奈良」、同年7月に「JWマリオット・ホテル奈良」と、ハイエンド観光客に対応した高級ホテルが開業するなど、客室数は増加しています。令和4年春には、「フェアフィールド・ハイマリオット・奈良天理」が開業予定であり、また、吉城園周辺地区においても宿泊施設を中心とした整備を進めており、今後も宿泊施設の新規開業が予定されています。

坊	3.滞在型観光の定着
テーマ	(14) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興
目指す姿	令和6年までに国際会議開催件数を80件にします。

CC(チーフコーディネーター)
(14)
観光局
MICE推進室長
福田 純一



国際会議開催件数(件)				
基準値		実績値	目標値	進捗率(傾向)
36	↘	35	80	基準値を1件下回りました
H22年(2010)	▲1(件)	R1年(2019)	R6年(2024)	9/14 年目
直近の指標の動き				
33	↗	39	↘	35
H29年	6(件)	H30年	▲4(件)	R1年

指標の動き (基準値からの動向、直近の動き、進捗率等)	進捗状況とその要因 (進捗状況の背景・要因分析等)
県内における国際会議実施件数は、基準値の36件から1件減少し、35件となりました。また、直近3年間の状況を見ると、開催件数、順位ともに大幅な増減はなく、概ね横ばいで推移しています。	奈良県コンベンションセンターの開業を翌年4月に控え、令和元年は、県内外での積極的なMICE(注)セールス活動や国内の商談会へ出展したものの、実施会場等、大規模なコンベンションの受入体制が整っていなかったため、開催件数は横ばいとなりました。

「目指す姿」達成に向けた「主な取組」に関する指標の動き

※令和2年の数値がないため、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は反映できておりません。

主な取組	関係する指標	指標の動き					
MICE誘致活動強化	コンベンション誘致件数(件)	-	-	-	160	↘	19
		-	-	-	R1年度(2019)	▲141件	R2年度(2020)
		-	-	-			

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

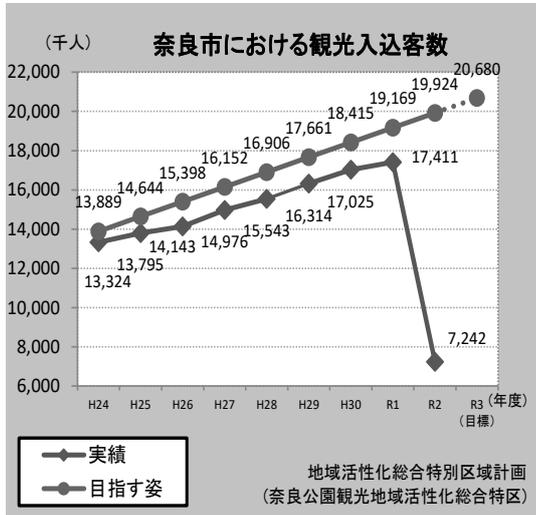
令和2年度は、コロナ禍のため、国際会議は開催できない状況にありませんでしたが、ウイズコロナ・アフターコロナを見据えて、外務省やICCA(国際会議協会)への情報提供や、国内最大級のMICE商談会に出展し、コンベンション開催地として奈良をPRしました。さらにICCA年次総会にオンライン出席し、国内外のMICE関係者との連携を図り、情報の収集や提供を積極的に行いました。

令和2年4月の奈良県コンベンションセンターの開業に伴い、ICCAサイト内にプレスリリースを2件掲載し、ICCA事務局よりメディア会員宛に「奈良県コンベンションセンターオープン」情報を提供していただいたところ、6つのメディアで情報を取り上げられました。また、「新しい生活様式」に即した会議形式の拡充に向け、奈良県コンベンションセンターで実施されたハイブリッド会議や屋外会議に関する情報発信を行いました。

(注)MICE…Meeting, Incentive travel, Convention, Exhibition/Eventの頭文字であり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称

坊	3.滞在型観光の定着
テーマ	(15) 高畑町周辺地区整備 (16) 吉城園周辺地区整備 (17) 旧奈良監獄ホテル整備支援
目指す姿	令和3年度までに奈良市における観光入込客数を2,068万人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(15)~(17) 地域デザイン推進局 奈良公園室長 竹田 博康



奈良市における観光入込客数(千人)				
基準値		実績値	目標値	進捗率 (傾向)
13,324	↘	7,242	20,680	35.0% (注)
H24年度 (2012)	▲ 6,082 (千人)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	8 / 9 年目
直近の指標の動き				
17,025	↗	17,411	↘	7,242
H30年度	386 (千人)	R1年度	▲ 10,169 (千人)	R2年度

(注)目標値に対する実績値の割合を記載しています。

進捗状況	指標の動き (基準値からの動向、直近の動き、進捗率等)	進捗状況とその要因 (進捗状況の背景・要因分析等)
	奈良市における観光入込客数は近年増加傾向にありましたが、令和2年度の実績値は7,242千人と基準値より大幅に減少しました。なお、進捗率は35.0%となっています。	令和2年度には高畑町裁判所跡地を瑜伽山園地として一般公開を開始し、敷地内には、奈良公園に相応しい風情ある上質な宿泊施設の誘致を行いました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い観光客は大幅に減少しました。

「目指す姿」達成に向けた「主な取組」に関する指標の動き

主な取組	関係する指標	指標の動き						
高畑町周辺地区整備 吉城園周辺地区整備	吉城園周辺・高畑町 裁判所跡地・旧奈良 監獄の整備・活用促 進の未完了地点※(カ 所)	3	→	3	→	3	↗	2
		H29年度 (2017)	0 カ所	H30年度 (2018)	0 カ所	R1年度 (2019)	▲ 1 カ所	R2年度 (2020)

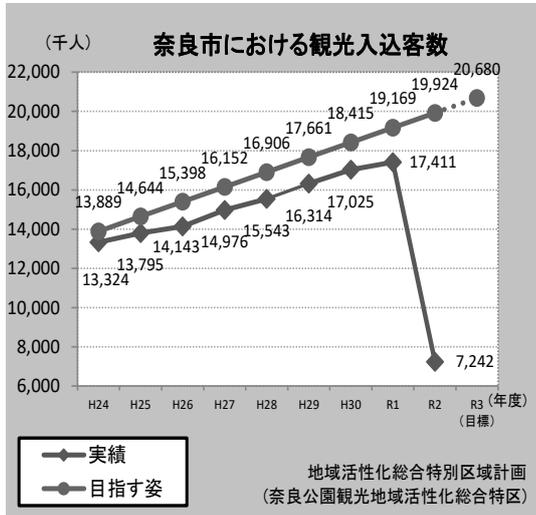
※は数値が低い方が良くなる指標です。

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

吉城園周辺地区では、これまでに3本の電柱の抜柱整備を行い、景観向上に努めています。

坊	4.魅力ある観光地づくり
テーマ	(20) 奈良公園アメニティ向上
目指す姿	令和3年度までに奈良市における観光入込客数を2,068万人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(20)
地域デザイン推進局
奈良公園室長
竹田 博康



奈良市における観光入込客数(千人)				
基準値		実績値	目標値	進捗率 (傾向)
13,324	↘	7,242	20,680	35.0% (注)
H24年度 (2012)	▲ 6,082 (千人)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	8 / 9 年目
直近の指標の動き				
17,025	↗	17,411	↘	7,242
H30年度	386 (千人)	R1年度	▲ 10,169 (千人)	R2年度

(注)目標値に対する実績値の割合を記載しています。

進捗状況	指標の動き (基準値からの動向、直近の動き、進捗率等)	進捗状況とその要因 (進捗状況の背景・要因分析等)
	奈良市における観光入込客数は近年増加傾向にありましたが、令和2年度の実績値は7,242千人と基準値より大幅に減少しました。なお、進捗率は35.0%となっています。	奈良 Free Wi-Fiの整備や公園内の公衆トイレの洋式化整備等、様々なアメニティの向上に取り組んでいますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い観光客は大幅に減少しました。

「目指す姿」達成に向けた「主な取組」に関する指標の動き

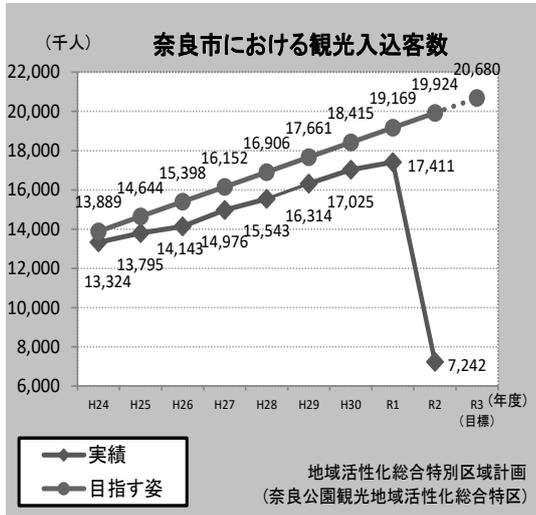
主な取組	関係する指標	指標の動き						
		41	↗	44	↗	45	→	45
奈良公園のアメニティ向上	Wi-Fiアクセスポイント[累計](カ所)	H29年度 (2017)	3カ所	H30年度 (2018)	1カ所	R1年度 (2019)	0カ所	R2年度 (2020)
		35	↗	41	↗	60	↗	80
奈良公園のアメニティ向上	洋式トイレ数[累計](カ所)	H29年度 (2017)	6カ所	H30年度 (2018)	19カ所	R1年度 (2019)	20カ所	R2年度 (2020)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

平成27年度から整備している「奈良 Free Wi-Fi」は、令和元年度まで毎年範囲を拡大しており、令和2年度の利用者数は日平均で3,300人と、平成27年度の約1.6倍になっています。トイレの洋式化整備は平成29年度から行っています。洋式化率は当初39%だったのが、令和2年度に81%まで上昇しています。

坊	4.魅力ある観光地づくり
テーマ	(21) 奈良公園周辺の交通周遊環境向上
目指す姿	令和3年度までに奈良市における観光入込客数を2,068万人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(21) 地域デザイン推進局 奈良公園室長 竹田 博康



奈良市における観光入込客数(千人)				
指標	基準値	実績値	目標値	進捗率 (傾向)
	13,324	7,242	20,680	35.0%(注)
	H24年度 (2012)	▲ 6,082 (千人)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
				8/9 年目
直近の指標の動き				
	17,025	17,411	7,242	
	H30年度	386 (千人)	R1年度	▲ 10,169 (千人)
				R2年度

(注)目標値に対する実績値の割合を記載しています。

進捗状況	指標の動き (基準値からの動向、直近の動き、進捗率等)	進捗状況とその要因 (進捗状況の背景・要因分析等)
	奈良市における観光入込客数は近年増加傾向にありましたが、令和2年度の実績値は7,242千人と基準値より大幅に減少しました。なお、進捗率は35.0%となっています。	令和元年度まではインバウンド旅行客が増加傾向であったこともあり、同年4月に供用開始した奈良公園バスターミナルの利用も好調でしたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い観光客は大幅に減少しました。

「目指す姿」達成に向けた「主な取組」に関する指標の動き

主な取組	関係する指標	指標の動き						
奈良公園バスターミナルの交通運営・アメニティ向上	県庁東交差点以東の交通量(5月調査)※(台)	-	-	-	-	884	▲	774
		-	-	-	-	H30年度 (2018)	▲ 110 台	R1年度 (2019)
		-	-	-	-			

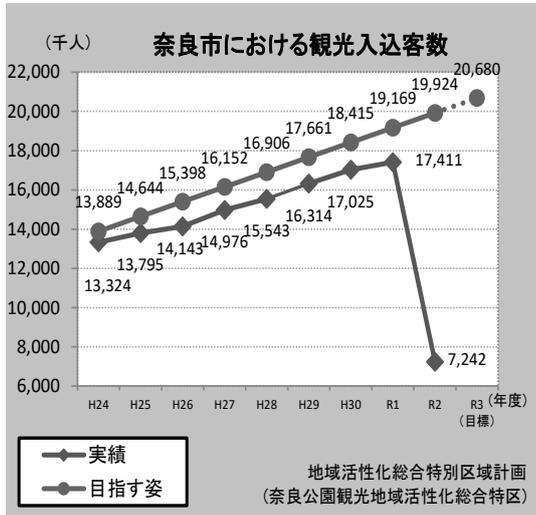
※は数値が低い方が良くなる指標です。

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

観光バスの回送時間を短縮するため、令和2年度末に奈良公園バスターミナルから比較的遠い距離にあった上三橋駐車場を廃止し、令和3年度秋から新たに平城宮跡歴史公園駐車場をバス駐機場として活用することを決定しました。

坊	4.魅力ある観光地づくり
テーマ	(23) 猿沢池周辺の環境整備
目指す姿	令和3年度までに奈良市における観光入込客数を2,068万人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(23) 地域デザイン推進局 奈良公園室長 竹田 博康



奈良市における観光入込客数(千人)				
基準値		実績値	目標値	進捗率(傾向)
13,324	↘	7,242	20,680	35.0% (注)
H24年度(2012)	▲ 6,082 (千人)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	8/9 年目
直近の指標の動き				
17,025	↗	17,411	↘	7,242
H30年度	386 (千人)	R1年度	▲ 10,169 (千人)	R2年度

(注)目標値に対する実績値の割合を記載しています。

	指標の動き (基準値からの動向、直近の動き、進捗率等)	進捗状況とその要因 (進捗状況の背景・要因分析等)
進捗状況	奈良市における観光入込客数は近年増加傾向にありましたが、令和2年度の実績値は7,242千人と基準値より大幅に減少しました。なお、進捗率は35.0%となっています。	ぐれーとさまあーふえすた☆ならまち遊歩をはじめ様々な取組を行っていることもあり、観光入込客数の増加に繋がっていると考えられますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い観光客は大幅に減少しました。

「目指す姿」達成に向けた「主な取組」に関する指標の動き

主な取組	関係する指標	指標の動き						
ぐれーとさまあーふえすた☆ならまち遊歩の開催	ならまち遊歩の来場者数(人)	-	-	18,616	↗	20,240	↗	26,533
		-	-	H29年度(2017)	1,624人	H30年度(2018)	6,293人	R1年度(2019)
		-	-					

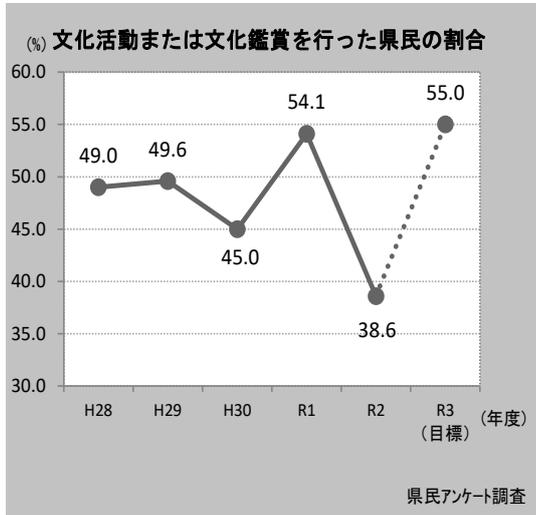
※令和2年度は規模縮小で開催したため非集計

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

令和2年度のぐれーとさまあーふえすた☆ならまち遊歩は、提灯の設置エリアの縮小、密を作るイベントを中止、ならまち楽座は対策を徹底した店舗のみ参加など、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底の上、開催しました。

坊	4.魅力ある観光地づくり
テーマ	(24) 県立文化会館・美術館の整備
目指す姿	令和3年度までに県民アンケート調査における文化活動または文化鑑賞を行った県民の割合を55.0%にします。

CC(チーフコーディネーター)
(24)
文化・教育・くらし創造部
文化振興課長
辰巳 徹



文化活動または文化鑑賞を行った県民の割合(%)				
基準値		実績値	目標値	進捗率(傾向)
49.0	↘	38.6	55.0	基準値を10.4ポイント下回りました
H28年度(2016)	▲ 10.4(ポイント)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	4/5 年目
直近の指標の動き				
45.0	↗	54.1	↘	38.6
H30年度	9.1(ポイント)	R1年度	▲ 15.5(ポイント)	R2年度

進捗状況	指標の動き (基準値からの動向、直近の動き、進捗率等)	進捗状況とその要因 (進捗状況の背景・要因分析等)
	平成30年度の減少を除き、令和元年度に9.1ポイント増加するなど目標に向かい増加傾向にありましたが、令和2年度については、15.5ポイントと大幅に減少し、基準値を10.4ポイント下回りました。	令和元年度まで、「ムジークフェストなら」の開催や県立美術館での特別展の開催に精力的に取り組んだことにより、増加傾向にありましたが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、「ムジークフェストなら」を中止するなど、活動制限の影響を強く受け、大きく減少しました。

「目指す姿」達成に向けた「主な取組」に関する指標の動き

主な取組	関係する指標	指標の動き						
県立文化会館の整備	県立ジュニアオーケストラ(注)の団員数(人)	57	↘	52	↗	56	↗	57
		H29年度(2017)	▲ 5人	H30年度(2018)	4人	R1年度(2019)	1人	R2年度(2020)
県立美術館の整備	県立美術館での特別展催事数(催事)	2	→	2	↗	3	→	3
		H29年度(2017)	0催事	H30年度(2018)	1催事	R1年度(2019)	0催事	R2年度(2020)

(注)県立ジュニアオーケストラ…県立文化会館を拠点に活動

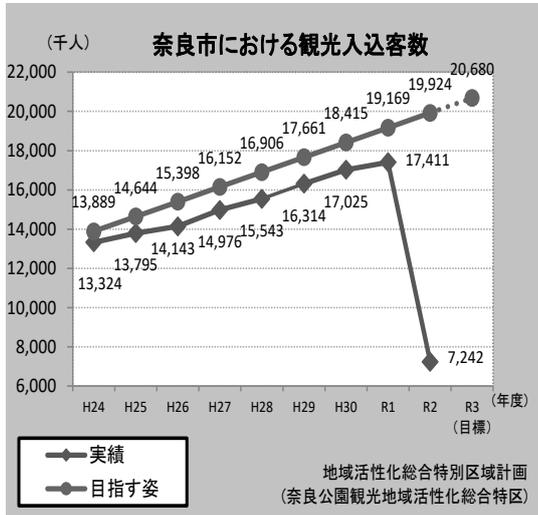
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

令和2年度に、県立文化会館の先行リニューアル整備に向けた設計業務の発注準備のため、文化会館整備検討事業を実施し、基本計画の見直しを行いました。文化活動のV字回復を目指し、取組を進めます。

美術館アネックスとしての整備を検討していた予定地において文化財発掘調査を実施したところ、登大路瓦窯跡が見つかり、学術的に重要な遺構として、令和2年12月、現地保存することとなりました。

坊	4.魅力ある観光地づくり
テーマ	(27) 平城宮跡東側の整備、大極殿院南門の整備 (28) 平城宮跡南側の整備
目指す姿	令和3年度までに奈良市における観光入込客数を2,068万人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(27)、(28) 地域デザイン推進局 平城宮跡事業推進室長 中岡 正一



奈良市における観光入込客数(千人)				
基準値		実績値	目標値	進捗率(傾向)
13,324	↘	7,242	20,680	35.0% (注)
H24年度(2012)	▲ 6,082(千人)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	8/9 年目
直近の指標の動き				
17,025	↗	17,411	↘	7,242
H30年度	386(千人)	R1年度	▲ 10,169(千人)	R2年度

(注)目標値に対する実績値の割合を記載しています。

進捗状況	指標の動き (基準値からの動向、直近の動き、進捗率等)	進捗状況とその要因 (進捗状況の背景・要因分析等)
	奈良市における観光入込客数は近年増加傾向にありましたが、令和2年度の実績値は7,242千人と基準値より大幅に減少しました。なお、進捗率は35.0%となっています。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、「平城京天平祭・春」を中止しましたが、「平城京天平祭・夏、秋」については、密集場所をつくる恐れのある催しの実施を控え、県民の方に安心して、ゆっくりと平城宮跡の魅力を感じていただけるよう、実施内容を見直し、開催しました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い観光客は大幅に減少しました。

「目指す姿」達成に向けた「主な取組」に関する指標の動き

主な取組	関係する指標	指標の動き						
「朱雀門ひろば」への誘客促進	平城京天平祭の来場者数(千人)	118	↘	110	↘	105	↘	37.5
		H29年度(2017)	▲ 8千人	H30年度(2018)	▲ 5千人	R1年度(2019)	▲ 67.5千人	R2年度(2020)
「朱雀門ひろば」への誘客促進	復原遣唐使船への乗船者数(人)	-	—	171,732	↘	131,271	↘	86,282
		-	-	H30年度(2018)	▲ 40,461人	R1年度(2019)	▲ 44,989人	R2年度(2020)
		-	-					

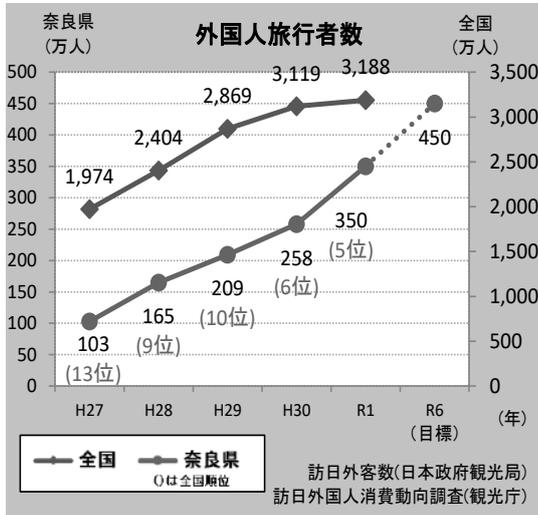
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

平城宮跡東側は引き続き地権者に対する丁寧な用地交渉を進めるとともに、令和2年12月には当地区の整備計画を策定しました。大極殿院南門の整備は令和2年5月に上棟式を行いました。

平城宮跡南側は令和2年度に整備を新規事業化しました。令和2年12月には積水化学工業(株)から用地を取得し、当地区の基本計画を策定しました。

坊	5.観光奈良の魅力向上・発信
テーマ	(32) 海外プロモーション・東京プロモーションの展開 (33) 「奈良まほろば館」新拠点への移転
目指す姿	令和6年までに外国人旅行者数を450万人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(32)、(33) 観光局 観光プロモーション課長 村田 政子



外国人旅行者数(万人)				
基準値		実績値	目標値	進捗率 (傾向)
103	↗	350	450	71.2%
H27年 (2015)	247 (万人)	R1年 (2019)	R6年 (2024)	$\frac{4}{9}$ 年目
直近の指標の動き				
209	↗	258	↗	350
H29年	49 (万人)	H30年	92 (万人)	R1年

指標の動き (基準値からの動向、直近の動き、進捗率等)	進捗状況とその要因 (進捗状況の背景・要因分析等)
令和元年の外国人旅行者数は前年から92万人増加して350万人となりました。基準値である平成27年との比較では、247万人の増となりました。また、進捗率は、71.2%となりました。	SNSにより積極的に情報発信等の取組を行った結果、外国人旅行者数は順調に増加しています。

「目指す姿」達成に向けた「主な取組」に関する指標の動き

※令和2年の数値がないため、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は反映できておりません。

主な取組	関係する指標	指標の動き						
外国人目線に立った情報発信	「Visit Nara」HPアクセス件数(万件)	73	→	73	↘	72	↘	18
		H29年度(2017)	0万件	H30年度(2018)	▲1万件	R1年度(2019)	▲54万件	R2年度(2020)
奈良県発信拠点の移転・整備	奈良まほろば館の入館者数(千人)	262	↗	273	↗	274	↘	154
		H29年度(2017)	11千人	H30年度(2018)	1千人	R1年度(2019)	▲120千人	R2年度(2020)

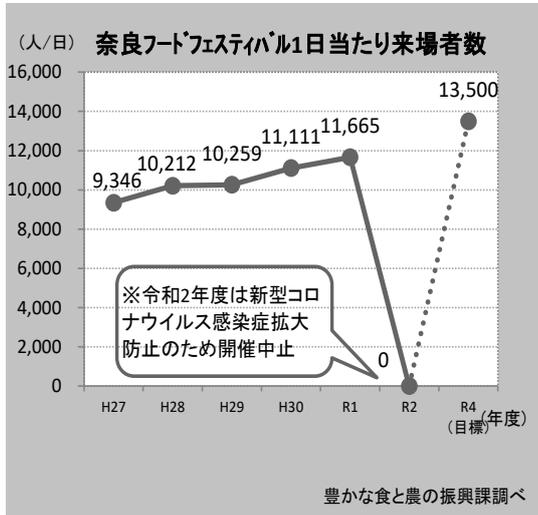
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

アフターコロナを見据えて、継続的にSNS等を活用した海外向けの情報発信や奈良まほろば館でのプロモーション活動を行い、首都圏等からの観光客誘致に取り組みました。

首都圏における奈良県の魅力発信拠点としての機能をより一層強化するため、「奈良まほろば館」新拠点の整備に向けた取組を進めました(令和3年8月開業)。

坊	5.観光奈良の魅力向上・発信
テーマ	(34) 食の振興
目指す姿	令和4年度までに奈良フードフェスティバル1日当たり来場者数を13,500人/日にします。

CC(チーフコーディネーター)
(34) 食と農の振興部次長 原 実



奈良フードフェスティバル1日当たり来場者数(人/日)				
基準値		実績値	目標値	進捗率(傾向)
9,346	↗	11,665	13,500	55.8%
H27年度(2015)	2,319(人/日)	R1年度(2019)	R4年度(2022)	$\frac{4}{7}$ 年目
直近の指標の動き				
11,111	↗	11,665	↘	0
H30年度	554(人/日)	R1年度	▲11,665(人/日)	R2年度

進捗状況	指標の動き (基準値からの動向、直近の動き、進捗率等)	進捗状況とその要因 (進捗状況の背景・要因分析等)
	奈良フードフェスティバルの1日当たりの来場者数は、基準値から令和元年度には、2,319人増加し、進捗率は55.8%と目標に向かって順調に進捗しています。	県産食材の魅力や「奈良県のおいしい食」を県内外の多くの人々に知ってもらい、楽しく味わってもらうために、食のトークイベントやワークショップを盛り込みながら、食の賑わいづくりを継続的に実施することにより、目標に向かって順調に来場者が増加してきました。なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

「目指す姿」達成に向けた「主な取組」に関する指標の動き

主な取組	関係する指標	指標の動き							
		5	→	5	→	5	→	5	
おいしい奈良の「食」の魅力創造と発信	美味しい奈良産協力飲食店[累計](店舗)	H29年度(2017)	0	H30年度(2018)	0	R1年度(2019)	0	R2年度(2020)	
		店舗	店舗	店舗	店舗				
県産農産物の高付加価値化	協定農産物直売所締結数[累計](店舗)	H29年度(2017)	1	H30年度(2018)	0	R1年度(2019)	0	R2年度(2020)	
		店舗	店舗	店舗	店舗				
県産農産物の高付加価値化	奈良県プレミアムセレクトの品種・銘柄数[累計](品種・銘柄)	H29年度(2017)	0	H30年度(2018)	1	R1年度(2019)	1	R2年度(2020)	
		品種・銘柄	品種・銘柄	品種・銘柄	品種・銘柄				

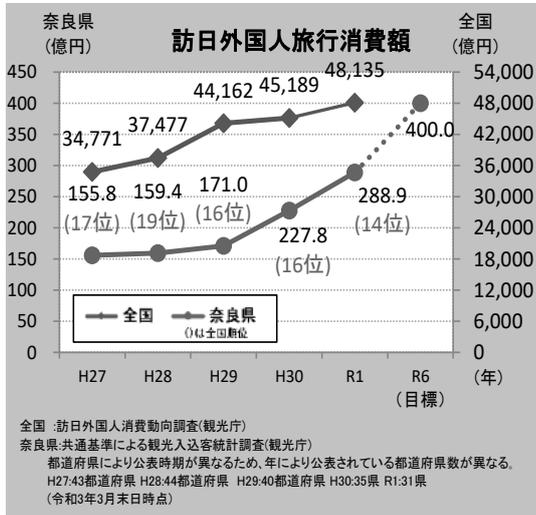
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

令和元年度において、UNWTO(国連世界観光機関)ガストロミーツリズム世界フォーラムの国内開催候補地として奈良県が選ばれ、誘致に向けてシンポジウムを開催しました。

NAFICとBCC(バスカリナリーセンター)との連携推進や奈良県プレミアムセレクトによる農産物のブランド化により、食の振興をさらに高度化するとともに、県コンベンションセンターでの食のイベントや奈良まほろば館での新商品のプロモーション活動により食の振興を図っています。

坊	5.観光奈良の魅力向上・発信
テーマ	(35) 奈良県の観光戦略20年ビジョンの策定と実行
目指す姿	令和6年までに訪日外国人旅行消費額を400億円にします。

CC(チーフコーディネーター)
(35) 観光局 ならの観光力向上課長 松浦 功治



指標	訪日外国人旅行消費額(億円)				
	基準値		実績値	目標値	進捗率(傾向)
	155.8	↗	288.9	400	54.5%
	H27年(2015)	133.1(億円)	R1年(2019)	R6年(2024)	$\frac{4}{9}$ 年目
	直近の指標の動き				
171.0	↗	227.8	↗	288.9	
H29年	56.8(億円)	H30年	61.1(億円)	R1年	

進捗状況	指標の動き (基準値からの動向、直近の動き、進捗率等)	進捗状況とその要因 (進捗状況の背景・要因分析等)
	令和元年の訪日外国人旅行消費額は288.9億円となり、平成30年から61.1億円、基準値である平成27年から133.1億円増加し、進捗率は54.5%となりました。	海外向け情報発信や受入環境の整備等による外国人旅行者数及び外国人延べ宿泊者数の増加に伴い、訪日外国人旅行消費額は増加傾向にあります。

「目指す姿」達成に向けた「主な取組」に関する指標の動き

※令和2年の数値がないため、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は反映できておりません。

主な取組	関係する指標	指標の動き						
		285	↗	665	↗	688	↗	704
奈良観光戦略20年ビジョンの策定と実行	多言語コールセンターの登録数[累計](件)	H29年度(2017)	380件	H30年度(2018)	23件	R1年度(2019)	16件	R2年度(2020)
		H29年度(2017)	7件	H30年度(2018)	43件	R1年度(2019)	10件	R2年度(2020)
奈良観光戦略20年ビジョンの策定と実行	地域通訳案内士登録件数[累計](件)	H29年度(2017)	40	H30年度(2018)	47	R1年度(2019)	90	R2年度(2020)
		H29年度(2017)	7件	H30年度(2018)	43件	R1年度(2019)	10件	R2年度(2020)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人旅行者数が減少し、訪日外国人旅行消費額も減少が見込まれることから、ウズコロナ・アフターコロナ時代の新しい視点を盛り込み、県民や市町村等の意見も踏まえた具体的施策である「奈良観光総合戦略」の策定に向けて取り組みました。(令和3年7月策定)

坊	4. 魅力ある観光地づくり	
テーマ	(22) ぐるっとバス支援	
CC(チーフコーディネーター)	(22)奈良公園室長 竹田 博康	
目指す姿	令和4年度までにぐるっとバス(奈良公園・若草山麓ルート)の乗車人数を約22万人にします。	進捗状況 令和2年4月に大宮通りルートを奈良県コンベンションセンター経由に変更しました。また、令和3年3月に大仏殿前駐車場にバスロケーションシステムを設置しました。新型コロナウイルス感染症の影響により一時運休しましたが、令和2年度は4月1日から4月17日、10月24日から3月31日のみ運行し、乗車人数は29,451人になりました。

坊	4. 魅力ある観光地づくり	
テーマ	(25) 近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備	
CC(チーフコーディネーター)	(25)地域デザイン推進局理事 入口 和明	
目指す姿	近鉄奈良駅周辺の環境整備を推進します。	進捗状況 地域関係者と勉強会を3回開催し、課題や整備の方向性について意見をいただき、整備の方向性や将来像について共有しました。また、道路の使用状況調査を行いました。

坊	4. 魅力ある観光地づくり	
テーマ	(26) 大宮通りの景観の向上	
CC(チーフコーディネーター)	(26)地域デザイン推進局理事 入口 和明	
目指す姿	これからも、大宮通りの景観を向上していきます。	進捗状況 植栽や花壇整備、イルミネーションの実施等により、景観を改善しています。 令和2年度より冬期街路樹イルミネーションに併せて、西方寺の白壁をライトアップすることにより、光量増量を図り、高天町から油阪間のおもてなし空間を創出しました。

坊	4. 魅力ある観光地づくり	
テーマ	(29) 中町道の駅の整備	
CC(チーフコーディネーター)	(29)道路政策官 六車 憲雄	
目指す姿	「道の駅」の早期完成を目指します。	進捗状況 令和5年度の供用開始に向けて、敷地造成については、令和3年3月に詳細設計が完了しました。建築物については、令和3年3月から基本・実施設計に着手しました。

坊	4. 魅力ある観光地づくり	
テーマ	(30) 自転車周遊環境整備	
CC(チーフコーディネーター)	(30)道路政策官 六車 憲雄	
目指す姿	令和2年度までに京奈和自転車道の概成を目指し、令和3年度に新たな関連自転車道の整備(世界遺産周遊サイクルルートの整備など)に着手します。	進捗状況 令和2年度末に京奈和自転車道が概成しました。世界遺産周遊サイクルルートについては、整備に向けて統一的な案内誘導サインの仕様等を検討しました。

坊	5. 観光奈良の魅力向上・発信	
テーマ	(31) 県内イベントの充実	
CC(チーフコーディネーター)	(31)観光局次長 桐田 健吾	
目指す姿	令和3年度までに、新たなコンテンツ及び奈良伝統コンテンツを活用し、幅広い年代層の参加、来場者数の増加を図ります。	進捗状況 令和2年度は、3密を避けるなど新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、平城京天平祭(夏・秋)、馬見フラワーフェスタ等のイベントを開催しました。また、なら燈花会、大立山まつり等は、無観客で行い、オンラインで映像を配信するなど、「WITHコロナ」の新しいかたちで開催しました。

3. 次年度に向けた課題の明確化

- 3. 滞在型観光の定着
- 4. 魅力ある観光地づくり
- 5. 観光奈良の魅力向上・発信

- (13) ホテル誘致
- (14) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興
- (15) 高畑町周辺地区整備
- (16) 吉城園周辺地区整備
- (17) 旧奈良監獄ホテル整備支援
- (18) 民泊、修学旅行、スポーツ・セミナー合宿への支援
- (19) 宿泊予約統一サイトの整備
- (20) 奈良公園アメニティ向上
- (21) 奈良公園周辺の交通周遊環境向上
- (22) ぐるっとバス支援
- (23) 猿沢池周辺の環境整備
- (24) 県立文化会館・美術館の整備
- (25) 近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備
- (26) 大宮通りの景観の向上
- (27) 平城宮跡東側の整備、大極殿院南門の整備
- (28) 平城宮跡南側の整備
- (29) 中町道の駅の整備
- (30) 自転車周遊環境整備
- (31) 県内イベントの充実
- (32) 海外プロモーション・東京プロモーションの展開
- (33) 「奈良まほろば館」新拠点への移転
- (34) 食の振興
- (35) 奈良県の観光戦略20年ビジョンの策定と実行

内部要因(奈良県内部の状況…ヒト・モノ・カネ等の資源や風土等)

- | | |
|--|---|
| <p>＜奈良県の持っている強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.3つの世界遺産、国宝・重要文化財指定件数全国第3位、中国や韓国との深い交流の歴史に裏打ちされた「ゆかり」を示す遺産を含めた文化財と豊富な歴史的資源 2.平城宮跡から奈良公園エリアは文化的・歴史的資産などの観光資源が特に集積 3.ミシュラングリーンガイドに観光地「奈良」の三つ星を始め61カ所に星がつく等、客観的評価に基づく魅力が存在 4.四季折々の変化が楽しめる豊かな自然景観 5.東アジア諸国との深いつながり 6.大阪・京都への交通アクセスがよい | <p>＜奈良県の抱えている弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 7.宿泊施設の施設数・客室数ともに少ない 8.夏・冬に楽しめるコンテンツが少ない 9.奈良公園周辺地区に低・未利用地や魅力を十分に活かしきれていない地区がある 10.奈良公園のアメニティの不足 11.観光資源が徒歩だけでは巡れない範囲に点在している |
|--|---|

- 外部要因(奈良県外部の状況…社会情勢の変化、制度改正、県民ニーズ等)
- ＜奈良県への追い風＞
- a.2025年大阪・関西万博などの大きなイベントが開催予定
 - b.ホテル業界での投資意欲の高まり
 - c.住宅宿泊事業法の施行
 - d.JRおおさか東線の全線開業
 - e.国による平城宮跡歴史公園の整備
 - f.近鉄特急ひのとり開業
- (新型コロナウイルス感染症に関連する追い風)
- g.県内や国内魅力の再発見
- ＜奈良県への向かい風＞
- h.少子化による児童、生徒数の減少
 - i.年間宿泊者数の伸び悩み
 - j.1人当たりの観光消費額の伸び悩み
- (新型コロナウイルス感染症に関連する向かい風)
- k.新型コロナウイルスによる観光需要の落ち込み

- | | |
|---|--|
| <p>＜強みで追い風を活かす課題＞</p> <p>【重要課題】奈良まほろば館の移転(1,2,3,4,a,e,g)</p> <p>【重要課題】平城宮跡歴史公園の整備推進(1,2,3,6,a,e)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRおおさか東線や近鉄特急ひのとりを活用した西日本や四国・九州等からの誘客の展開(1,2,3,4,6,d,e,f,g) | <p>＜弱みを踏まえ追い風を活かす課題＞</p> <p>【重要課題】奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興(7,b)</p> <p>【重要課題】奈良公園のアメニティ拠点の魅力向上や公園全体のアメニティの向上(9,10,f)</p> <p>【重要課題】多様な宿泊ニーズに対応したバラエティーのある宿泊サービスの提供(7,8,11,b,c,d)</p> |
| <p>＜強みで向かい風を克服する課題＞</p> <p>【重要課題】首都圏からの誘客強化(1,2,3,4,6,i,j,k)</p> <p>【重要課題】旅行商品の造成・セールの強化(1,2,3,4,6,j,k)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪日教育旅行の誘致促進(1,2,5,6,h) <p>【重要課題】文化・歴史的観光資源を活用した上質な宿泊施設の整備(1,2,3,4,5,6,j,k)</p> | <p>＜弱みを踏まえ向かい風に備える課題＞</p> <p>【重要課題】奈良公園周辺における交通周遊環境整備(11,j,k)</p> <p>【重要課題】観光地としての奈良の魅力づくり(7,8,11,i,j,k)</p> |

4. 重要課題等に対するこれまでの評価、取組及びそれらを踏まえた今後の取組方針

《強みで追い風を活かす課題》

課題名	これまでの評価、取組	今後の取組方針
奈良まほろば館の移転(テーマ(33))	「奈良まほろば館」を東京都港区新橋に移転し、観光情報の提供や県産農産物の販売、レストラン機能等を有する新拠点の整備を推進し、令和3年8月に移転しました。	大型ビジョンを活用した観光情報発信や観光案内のほか、県産農産物の販売、レストラン機能等を通じ、東京における奈良の魅力発信と誘客促進を一層強化します。
平城宮跡歴史公園の整備推進(テーマ(27,28))	平城宮跡東側については、令和2年12月に当地区の整備計画を策定しました。また、平城宮跡南側は令和2年12月に積水化学工業(株)から用地を取得し、当地区の基本計画を策定しました。	平城宮跡東側には歴史、宝物、文化・くらしをテーマとした「歴史体験学習館」を整備します。「宝物体験エリア」では、正倉院を意匠化した施設の整備を予定しており、令和7年度の完成を目指します。平城宮跡南側は歴史公園の正面玄関として、平城京のスケールを感じられる空間と、史跡外の立地を活かした駐車場、休憩施設、便益施設等を令和7年度の完成を目指し整備します。また、公園整備に本格的に着手するまでの間、当地区を有効活用するため、令和3年10月の運用開始を目指し、暫定駐車場の整備を進めています。

《弱みを踏まえ追い風を活かす課題》

課題名	これまでの評価、取組	今後の取組方針
奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興(テーマ(14))	県内大学・研究機関のネットワークやICCA(国際会議協会)会員のみ閲覧可能なデータベースを活用したセールス活動、ユニークメニューやテクニカルビジットの提案等を通じて、MICEの誘致・開催を図るとともに、令和2年4月に開業した奈良県コンベンションセンターを活用した大規模会議の誘致に取り組みました。	国内外のMICE関係者との連携を図り、情報収集を行うとともに、誘致用PR動画の活用や商談会への出展、ファムトリップの実施、誘致ツールの充実、魅力的な開催支援への見直し、会議後の催しや視察旅行の奈良らしいメニューづくり等、MICE誘致に向けたセールス活動や情報発信を進めます。また、2,000人規模の開催が可能なコンベンションセンターでの大規模会議に加え、ハイブリッド会議など、「新しい生活様式」に即した会議形式の拡充に向けての取組を進めます。
奈良公園のアメニティ拠点の魅力向上や公園全体のアメニティの向上(テーマ(20))	Wi-Fi整備が完了したことや公衆トイレの洋式化率の上昇など毎年、アメニティの向上に取り組んでいることから概ね順調に取り組んでいます。	奈良公園アメニティ拠点の魅力向上を図るため、様々なイベントの実施に取り組むとともに、多言語案内看板の追加整備、休憩施設等の整備、トイレ洋式化等により奈良公園全体のアメニティ向上を図ります。
多様な宿泊ニーズに対応したバラエティーのある宿泊サービスの提供(テーマ(18))	宿泊施設における感染症対策に必要な設備・備品等の整備の支援、宿泊事業者を対象とした感染症対策について学ぶセミナーの開催等、安全・安心の確保に向けた取組を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機とした、ワーケーションをはじめとする新たな旅のスタイルの定着に向けた実証事業等の取組を実施しました。	引き続き、セミナーの開催等への支援及び宿泊施設の認証制度の創設をはじめとした新型コロナウイルスの感染防止対策を支援します。また、修学旅行宿泊、高校ラグビーをはじめとするスポーツ宿泊やセミナー宿泊、ワーケーション等の新たな旅のスタイルに対応するためのホテルの整備など多様な宿泊サービスを充実させ、その利用を推進します。

《強みで向かい風を克服する課題》

課題名	これまでの評価、取組	今後の取組方針
首都圏からの誘客強化(テーマ(32))	3密回避や疫病平癒など新たな視点での県内周遊を促す旅行商品の企画造成や新たな奈良の魅力を発信する動画制作を通じ、奈良への誘客を図るとともに、鉄道事業者等と連携した奈良の魅力を発信するプロモーションを展開しました。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、首都圏からの誘客が大きく落ち込み県内の観光産業が大きな打撃を受けている状況から、首都圏等に対して、奈良県のもつ文化的・歴史的資産などの観光資源を活用した観光キャンペーンを展開することで誘客強化を図ります。
旅行商品の造成・セールスの強化(テーマ(32))	定番の社寺拝観については、従来の案内付き特別拝観だけではなく、食事や体験の要素を加えた商品や、早朝・夜間の貸切特別拝観等、奈良の魅力を盛り込んだ特別感のある旅行商品を旅行会社に対して提案を行い、商品造成に繋がりました。	新型コロナウイルス感染対策を含む多様な旅行ニーズに合致した県内の観光資源を活用した商品開発とプロモーションの展開等を通じ、安全・安心な観光地としての奈良のPRを強化していきます。
文化・歴史的観光資源を活用した上質な宿泊施設の整備(テーマ(15,16,17))	整備を進めてきた高畑町裁判所跡地においては、令和2年5月24日に一般公開を開始しました。同年6月5日には敷地内に宿泊施設がオープンしました。	年間宿泊者数の増加や、1人当たりの観光消費額の増加を図るため、近代建築物と庭が織りなす空間美を保全しながらゆったりとくつろぎ、宿泊できる空間を高畑周辺地区、吉城園周辺地区に整備するとともに、旧奈良監獄の歴史文化的価値の保存・活用事業を支援します。

《弱みを踏まえ向かい風に備える課題》

課題名	これまでの評価、取組	今後の取組方針
奈良公園周辺における交通周遊環境整備(テーマ(21))	令和2年度末に奈良公園バスターミナルから比較的遠い距離にあった上三橋駐車場を廃止しました。	令和3年度秋から新たに平城宮跡歴史公園駐車場をバス駐機場として活用します。また、大仏殿駐車場での休憩所の整備等により、周辺の交通周遊環境の整備に取り組みます。
観光地としての奈良の魅力づくり(テーマ(35))	インバウンドの受入環境整備やバリアフリー化など魅力ある観光地づくりにつながる事業に対し補助を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込む観光需要の回復のため、宿泊事業者や観光関連団体等が実施する安全安心を確保する取組や地域資源の磨き上げ等の取組に対し支援を行いました。	県内の宿泊施設や観光施設等における、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や、ワーケーションの推進等、新たな旅のスタイルの定着を目指した取組に対し支援を行います。また、新たに、観光客や修学旅行生が周遊しやすい観光地づくりのため、タクシーを利用した県内周遊をモデル的に実施し、周遊に適した観光プランを検討します。